

稲作情報

(成熟期～稲刈り後の管理)

令和5年度第6号

令和5年9月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、

喜多方市、北塩原村、西会津町

出穂日以降の高温により、収穫適期が早まっています！

刈遅れによる品質の低下に注意してください！

アメダスによると、8月の一日当たりの平均気温は平年より3℃以上高く、日照時間は2時間以上多くなっています。これにより、収穫適期は平年より4日以上、前年より3日以上早まると予想されます。

表1 8月の平均気温(℃/日)

	本年	前年	平年
喜多方アメダス	28.1	24.7	24.4
西会津アメダス	27.6	24.4	24.1

表2 8月の日照時間(時間/日)

	本年	前年	平年
喜多方アメダス	9.1	5.2	6.4
西会津アメダス	9.2	5.0	6.1

収穫の準備を早めに進めましょう！

- ・ほ場の準備は大丈夫ですか？
コンバインが入れるように田面を固めましょう。ただし、早期落水は品質の低下を招きますので落水時期には注意しましょう。
- ・機械の準備は大丈夫ですか？
コンバインや乾燥機の点検・清掃を早めに行っておきましょう。
- ・人手の準備は大丈夫ですか？
収穫作業を誰かに手伝ってもらう場合は、人員が確保出来るように早めに頼んでおきましょう。

収穫・乾燥時の注意点

- ・刈取りは、必ず籾の黄化率(85～90%)を確認してから行いましょう。刈取適期になっても上位葉や穂軸に緑色が残る場合がありますので注意してください。本年はほ場内での成熟ムラが大きいため、ほ場全体の成熟状況を考慮して収穫時期を決定してください。
- ・飼料用米(区分管理)の場合は、収穫を遅らせ水田内で乾燥させる「立毛乾燥」を行い、乾燥に係る経費を削減しましょう。
- ・刈り取った籾は速やかに乾燥機に張り込みましょう。3時間以上放置するとヤケ米(光沢の無い茶～黒色の米)になってしまいます。
- ・本年はほ場内での成熟ムラに伴う水分のバラツキも大きいため、水分が18%になったら一旦乾燥を停止し、5時間以上空けた後に再度乾燥を開始する二段階乾燥を行いましょう。

土づくりのすすめ ～稲わら焼却防止～

稲わら焼却は、貴重な有機資源を喪失するだけでなく、地域住民から煙害に対する苦情が寄せられるほか、火災の危険性、交通障害、観光地のイメージダウンなどに繋がります。また、有機物を施用せず、稲わらの焼却を続けると地力の低下にも繋がります。

秋のすき込みを行い、地力向上に努めましょう。また、稲わらの有効活用のため、堆肥化や園芸作物への活用、畜産農家への提供もおすすめします。

<稲わらのすき込み効果>

- ・堆肥施用と同等の土づくり効果が期待できます。
- ・土壌の保水力や窒素供給力が向上し、米の品質向上に結びつきます。

<稲わらのすき込み方法>

- ・すき込みは10月中旬頃までに行い、耕深は浅めの5～10cmとしてください。
- ・腐熟を促進させるための資材（土壌改良資材や石灰窒素等）を活用すると、翌年のガス湧きを抑制できます。

※石灰窒素を散布した場合は、翌年減肥が必要です。

雑草イネを見つけたら即対策！

雑草イネの発生が各地で見られています。雑草イネは普通のイネと比べて草丈が高く、穂が長く黒っぽいのが特徴です。ほ場で雑草イネの発生が見られたら、以下の対策を徹底しましょう。なお、対策は数年続ける必要があります。

<収穫前の対策>

- ・株ごと抜き取ってください（穂だけ除去しても再生して種子を付けます）。抜き取った株は放置せず、埋没するなどして処分してください。
- ・種子の拡散を防ぐため、雑草イネが生えているほ場での作業は最後に行いましょう。

<収穫後の対策>

- ・収穫物に雑草イネ（赤米）が混入している場合は、色彩選別機により除去してください。

<次年度に向けた対策>

- ・地表に落ちた種子が冬の寒さで死滅するため、秋耕はしないようにしましょう。なお、収穫後、稲わら除去してから石灰窒素を50kg/10a散布すると、より地表の種子を死滅させることができます（翌年減肥が必要です）。
- ・丁寧な代かき（長辺、短辺、長辺の3工程）を行い、種子を土中に埋没させましょう。丁寧な代かきには発芽した雑草イネを土中に埋め込み、発生数を抑える効果もあります。
- ・初期剤、初中期一発剤、中期剤を組み合わせた防除を行います。詳細については、普及所やJAにお問い合わせください。

9～10月は秋の農作業安全運動推進月間です。収穫期を迎え、大型機械の作業が増える時期です。点検時はエンジンを止めるなど基本を守り、農作業事故防止に努めましょう。

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5745

JA会津よつば喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801